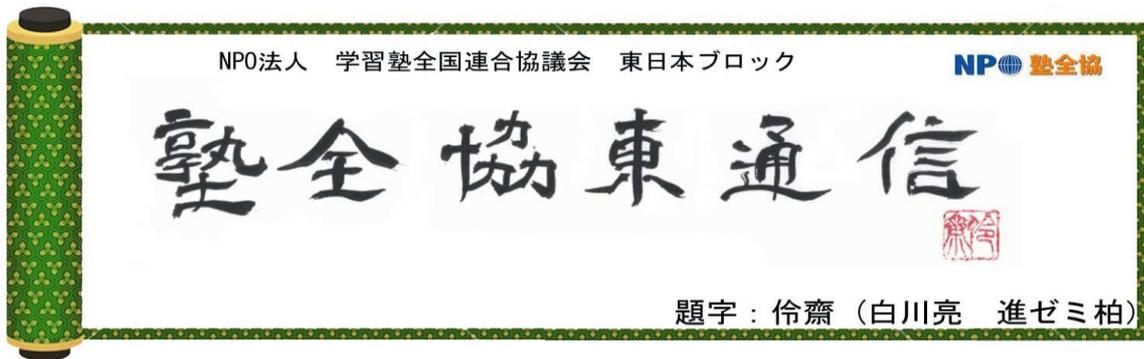


2019年7月



NPO 塾全協 千葉地区研修会

日時：2019年（令和元年）6月24日（月） 11:00～14:30

場所：久利船（千葉県柏市）

テーマ：オンライン英会話の体験その他

参加者：15名

レポーター：中村基和



昨年度より山本先生（NPO 塾全協財務局長、四季青舎柏）が中心となって OLEAC（オリーク）というオンライン英会話のコンテンツ立ち上げ、NPO 塾全協会員は特別価格で利用できる環境が用意されています。しかし実際に自塾でどのように活用したらよいかなどについては、多くの不安が残ります。そこで今回は OLEAC を会員の皆さんに実際に体験していただき、どのように活用したらよいかなどについて、質疑応答を交えて研修を催すことになりました。

英会話の講師はネイティブスピーカーだと非常に高くつきますので、フィリピン人を使うのが一般的になっているそうですが、山本先生が色々試したところ、酷い講師が多いことがわかりました。その中で講師の良いところを見つけ、NPO 塾全協で採用することになりました。

ノートパソコンで2人の先生が体験しましたが、講師は非常に綺麗な英語を話し、リードの仕方も上手です。これならやれるという気になります。1レッスンは25分で人数は1～5名です。料金は1名と2～5名で異なります。



研修会の後は昼食会。そのあと各塾の最近の状況報告をして貰いました。稲葉先生のところでは既に障害児教育を実施しており、星野（重）先生のところも準備中だそうです。星野先生のところではソロバンもやっていることは知っていましたが、中島先生のところでもやっていると聞き驚きました。そのた色々有益な話を聞くことが出来、収穫になりました。

学校説明会レポート 2019（その1）

専修大学松戸中学校・高等学校（千葉県松戸市）

日時：2019年（令和元年）6月6日（木） 10:30～12:30

レポーター：NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和

私は塾も住まいも東京なので学校説明会と言うとどうしても東京中心に行くことになってしまいますが、NPO 塾全協は全国組織で、千葉の会員が多くおられる上、進学相談会にも参加していただいている学校なので思い切って遠路はるばる足を運ぶことにしました。この学校の説明会に行った理由はもう一つあります。さる5月26日の「中高入試を考える会」で千葉県担当の五十嵐氏（進学研究会）が、「東京と違って千葉県にはガチガチの付属校がなく、付属校と行っても他大学の受験を前提にしている」という言葉が頭に残っていた上、系列校の専修大学付属校（東京都杉並区和泉）は私の塾のすぐ近所にあります、そこは80%以上が専修大学に入学に進んでいるいわゆるガチガチの付属校なので、その違いに興味を持ったからでした。

当日私は新宿までバスで行き、山手線に乗り日暮里で常磐線の急行に乗り換えて松戸まで行き、そこでまた乗り換えて1駅先の北松戸に行きました。駅前のロータリーに送迎用のスクールバスが来ました。遠足などに使うような大型のバスです。学校までの所要時間

は約1時間40分。私は23区の西の方に住んでいるので、東京でも東の方に住んでいる生徒なら1時間かかるかかからないかで、十分通学圏内です。

説明会は学校長の徳山斉先生の挨拶から始まりました。見学の精神は、報恩奉仕、質実剛健、誠実力行で、社会に貢献できる知性豊かな人材の育成（人間性と知性を養う）ことを目標にしています。



中学高校両方ある学校の説明会は普通中学校から始まるのですが、この学校は高校から始まりました。

高校の説明は教頭の松柿優美先生。高校から入学する生徒は「類型制システム」を採っています。1年次はE類型（2クラス）とA類型（4クラス）とS類型（1クラス）の3つのクラスに分かれます。E類型は難関国公立を目指し、A類型は国公立を目指し、2、3年次にはそれぞれ文系と理系に分かれます。E、Aとも使用教科書は基本的に同じです。類型は専修大の付属推薦もしくは他私大を目指し文系のみです。

高校教育の特色の1つは英語教育です。ネイティブとのランチタイムアクティビティ、グローバル研修、アメリカ姉妹校との交流（交換留学）があります。英検合格率はアップし、センター試験の平均点は全国以上だそうです。

進学実績ですが、東京の専修大学付属と違って専修大に進むのは10%だけです。国公立は今年は現役生が50名合格しています。東大はなかなか出ませんが、千葉大は何と14名です。私大は慶応が少ないのですが、いわゆる早慶上智理科大やGMARCHにはかなり合格しています。例えば上智は25名、理科大は38名、立教は41名となかなかの数字です。ただし私大の場合は国公立の合格者と重複している筈ですので、そのまま単純な足し算では判断出来ませんが、とにかく受験日が同じである国公立が50名というのは相当なものだと思います。

さて、気になる高校入試ですが、実質倍率は2倍ぐらいです。E類型が合格しても50名程度はA類型にスライド合格しています。私立高校ではほぼ当たり前になっている併願・単願推薦はありません。地元の塾の先生から聞いたのですが、そんなことしなくても生徒募集に困ることがないそうです。併願公立校ですが、E類型では千葉県の船橋、東葛が30%位を締めているのですが、東京の戸山、日比谷、新宿、青山などの比較的東の地域

のトップ校の受験者がその次に並んでいます。来年からの入試問題の変更点ですが、英語の長文(2題)が500~600語から700~800語になります。設問は長文の内容に関する出題で、文法は文法問題に特化し、長文問題中には含まれません。尚、文法の出題様式は変わりません。

中学の説明は教頭の五味光先生。まずは中学入試の説明からでしたが、第2回(1/26)の倍率は第1回(1/20)の2倍になっています。昨年に比べ東京からの受験生が増加しているそうです。英検取得者に対する優遇措置があり、2級以上が+10点、準2級が+7点、3級が+5点です。特待生制度があり、第1回入試の合格者のうち、成績優秀者(上位約10%)に対し入学後、入学金(36万円)相当額が支給されます。31年度は67名特待生合格しました。

中学から入学した生徒は高校から入学した生徒と一緒に授業を受けることはありません。今年度の中高一貫制(185名)の大学受験成績は、国公立22名、早慶上智理科大ICUが34名、GMARCHが55名で、専修大への内部推薦入学は13名でした。

授業進度・内容ですが、他の多くの中高一貫校と同じように中1、中2で公立中の1~3年のことをやり、中3~高2で高1~高3の内容(高2で文系と理系に分かれます)、高3は受験科目の選択演習授業となります。高校と同じくやはり英語教育には力を入れています。中3の6月はアメリカのネブラスカに修学旅行に行きます。ネブラスカはいわゆる観光地ではありません。だからこそ古き良きアメリカが学べる。楽しいことだけでなく、自分を成長させることが出来るという観点からネブラスカにしているそうです。中3の7月には「ISAプログラム」と言って主にアジアの国々から東大や早大などに留学中の大学生・大学院生30名を招いて、ノン・ネイティブ・スピーカーとの英語での交流を行っています。そうした教育の成果として、中3時に4年連続で70%以上の生徒が英検準2級以上を取得しています。

教科学習以外では田植え・稲刈りの実習、日本の伝統文化を知るために歌舞伎、文楽、能・狂言の鑑賞を行っています。これらの体験は0回と1回では違うという考えに基づいています。

最後に部活に関する注目すべき話がありました。本校は文武両道を採用しているため、部活は月水土の週3回、火金は英数の必修講座や指名制補修を行い、部活も勉強も5時までで、完全下校時は5時30分になっています。

以上、学校の評価は在校生、卒業生、父兄、そして地元の方々の話も聞かなければ出来なないと思われませんが、少なくとも説明会を聞く限り素晴らしい学校で、もっと近くなら自塾の生徒にも勧めたくなりました。



NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2019年度)

今後の主なイベント

- | | | |
|------------|----|--------|
| 9月16日(月祝) | 東京 | 進学相談会 |
| 9月23日(月祝) | 千葉 | 進学相談会 |
| 9月29日(日) | 埼玉 | 進学相談会 |
| 11月29日(月祝) | 大阪 | 全国研修大会 |

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行
〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地

TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO塾全協東日本ブロックHP <http://www.jzk-east.com>